管機連Daily News

2026年9月29日（火）

≪ 今日の主なニュース ≫

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆日銀、金融政策「物価上振れ回避に局面変化」 7月議事要旨

・日銀は7月30～31日に開いた金融政策決定会合の議事要旨を公表。金融政策の焦点について、ある政策委員は「（一時的な変動要因を除く）基調的な物価上昇率の更なる上振れの回避に局面が変化している」と述べた。この委員は利上げペースを早める必要があるとの見解を示した。7月会合では政策金利を1.0%で据え置くと決めた。

◆幹線道路の橋、耐震不備恐れ8割 検査院「基礎の確認不適切」

・国や自治体が管理する幹線道路に架かる橋のうち、主要な工法で柱が補強された橋脚の8割は必要な耐震性を確保していない恐れがあることが会計検査院の調査で分かった。大規模地震が発生すると通行に支障が生じる可能性があるという。検査院は国土交通省に対し、基礎部の強度確認や設計を適切に実施する必要があると指摘。

◆採算割れの薬の公定価格引き上げ、厚労省検討 コスト高で逆ざや増加

・公定価格の薬価を巡り、厚生労働省は2027年度の改定で採算割れの医薬品の価格引き上げを検討。原材料費や人件費の上昇に伴い、製薬会社から卸売業者への販売価格が薬価以上となる「逆ざや」の品目が増えていることに対応。公的医療保険で扱う医薬品の価格は政府が全国一律で定める。

≪ 業界ニュース ≫

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆関東マンション修繕談合、38社に排除措置命令 業界の自浄作用働かず

・関東1都6県のマンション修繕工事171件で談合したとして、公正取引委員会は28日、施工36社と設計コンサルタント2社に独占禁止法違反（不当な取引制限）で排除措置命令を出した。談合は広域に及んでいた疑い。自浄作用の働いていない実態が露呈。解散した事業者を含む施工37社に計約16億円の課徴金納付も命じた。

◆豊田自動織機の社員、国際技能五輪で銀賞 新職種で日本初

・豊田自動織機は22～27日に中国・上海で開かれた技能五輪国際大会で、同社の宮堂頌也選手が銀賞を受賞したと発表。3Dプリント技術を競う「付加製造職種」で日本勢の銀賞は初となる。宮堂選手が出場する「付加製造職種」は22年に正式種目化された比較的新しい分野。3Dプリント技術を活用し、設計から製造までを一貫して行う競技。

◆介護事故防止へ全国統一データベース 厚労省、転倒や誤薬の事例集約

・厚生労働省は転倒や薬を飲み間違える「誤薬」といった介護現場の事故をデータベースにして分析する仕組みをつくる。2027年度に有識者による分析委員会を設ける。これまで把握できていなかった事例を集約し、介護事故の削減につなげる。26年度中に介護現場の事故を把握する「事故情報報告システム」を構築。

≪ 注目商品 ≫

■YKK AP 梁が見えない上吊り屋根カーポート、耐風圧・耐積雪を両立

・上吊り屋根仕様のスチール折板屋根カーポート「ジーポート Pro BASE」（耐積雪性能100、150、200cmタイプ）を発売。上吊り屋根で梁がカーポート内から見えない構造により、住宅外構に馴染むシンプルなデザインを実現。使い勝手とファサードの意匠性を高めることもできる。



■便の状態を記録し健康管理を支援する「TOTOネオレスト」

・健康管理機能を搭載したウォシュレット一体型便器「ネオレストLS-W／AS-W」を展開。トイレ使用時に便の状態を計測し、専用アプリ「TOTOウェルネス」と連携することで、日々の健康状態の把握をサポート。いつも通りトイレを使うだけで健康管理ができるトイレとして提案。



■ノダ、HBW使用の狭小耐力壁キット

・真壁両面貼りの455ミリ幅仕様で狭小壁に対応する「HBW（構造用ハイベストウッド）」を使用した面材と縦・横の面材受材などをセット。柱と柱の間に面材を設置する真壁両面貼り仕様で許容せん断耐力14.22kN/m、壁倍率7倍相当で許容応力度計算に対応できる評定書を取得。

